



地震

地震① 大地震発生時の行動を確認し、安否確認方法を記入

○谷戸地区の地震による危険

震度5強から震度6弱の揺れと、液状化の可能性が想定されています。

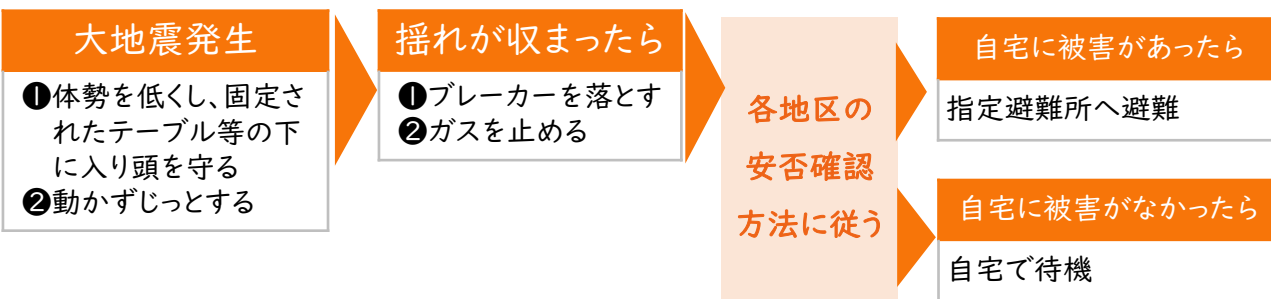
○震度と体感

震度5弱	震度5強	震度6弱	震度6強	震度7
大半の人が恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる	物につかまらないうと歩くことが難しい	立っていることが困難になる	這わないと動くことができない	耐震性の高い木造建物でも傾くことがある

○液状化が発生した場合

マンホールなどの埋設物が浮き上がったり、道路に段差が発生したりする可能性があります。避難する際には足下に注意しましょう。

○大地震発生時の行動



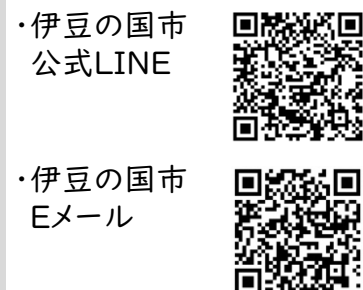
ア 地区の安否確認方法を確認し、「わたしの避難計画」に記入しましょう

★谷戸地区の安否確認方法

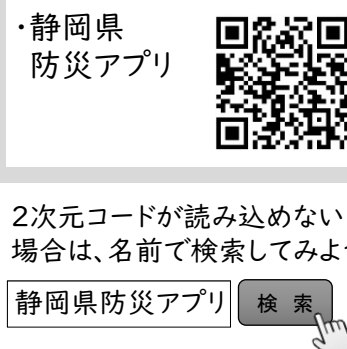
(黄色いバンダナを出す)

情報収集手段に関する紹介

避難情報や同報無線の放送、避難所の開設が確認できます。



避難情報やハザードマップが確認できます。



土砂災害の危険度、河川の様子を確認できます。



伊豆の国市 谷戸地区

わたしの避難計画 作成ガイド

はじめに 「わたしの避難計画」とは？

- 自宅の危険度や、自分や自分の家族が「いつ」「どこに」避難するか記入して、災害発生時にどう行動するか整理することができます。
- いざという時確認できるように、冷蔵庫や玄関など、目に見えるところに貼っておきましょう。

<やることリスト>



大雨	大雨① ハザードマップで自宅の危険を確認し、記入	P2
大雨	大雨② 避難のタイミング、避難先、情報収集手段を確認し、記入	P3
地震	地震① 大地震発生時の行動を確認し、安否確認方法を記入	P4

<見本>

作成日 2022年 1月16日

わたしの避難計画 (伊豆の国市)

大雨 (河川氾濫・土砂災害)

大雨① ハザードマップで自宅の危険を確認し、記入

大雨② 避難のタイミング、避難先、情報収集手段を確認し、記入

避難のタイミング

高齢者等避難

避難先

叔母の家

情報収集手段

伊豆の国市公式LINE

伊豆の国市Eメール

静岡県防災アプリ

テレビ、ラジオ

その他

地震

地震① 大地震発生時の行動を確認し、安否確認方法を記入

大地震がおきたら

各地区の安否確認

各組の集合場所

自宅に被害があったら
指定避難所へ

自宅に被害がなかったら
自宅で待機

自由記入欄 (連絡先等)

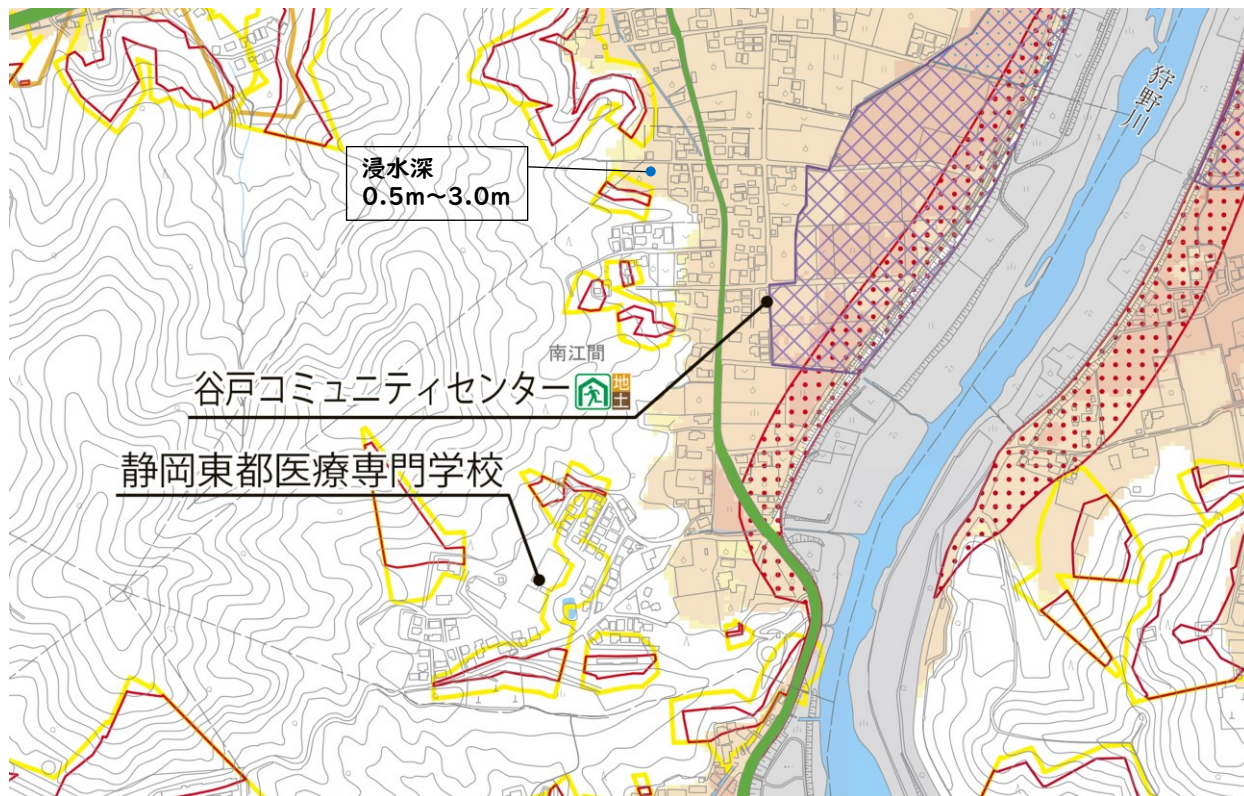
災害伝言ダイヤル171

大雨(河川氾濫・土砂災害)

大雨① ハザードマップで自宅の危険を確認し、記入

ア 自宅の位置を確認しましょう

※出典:伊豆の国市防災マップ

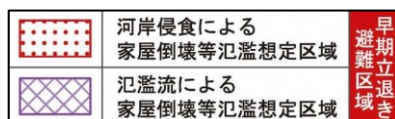


見えにくい場合は「伊豆の国市防災マップ」、もしくは国土交通省の「重ねるハザードマップ」で確認しよう。

イ 下記の災害リスクを確認し、「わたしの避難計画」に記入しましょう

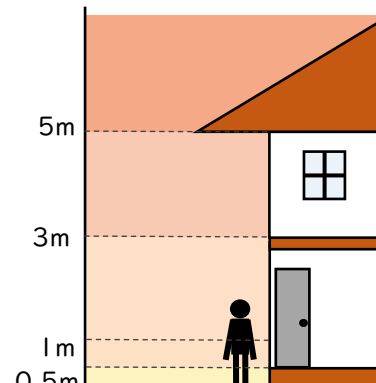
河川氾濫による危険

- 家屋倒壊等氾濫想定区域
川が氾濫した場合、家屋が流出するおそれがある区域



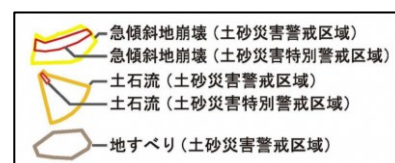
- 浸水想定区域(浸水深)
川が氾濫した場合に浸水するおそれがある区域

浸水深5.0m以上の区域	避難区域
浸水深3.0m~5.0m未満の区域	避難区域
浸水深0.5m~3.0m未満の区域	避難区域
浸水深0.5m未満の区域	避難区域
浸水なし	



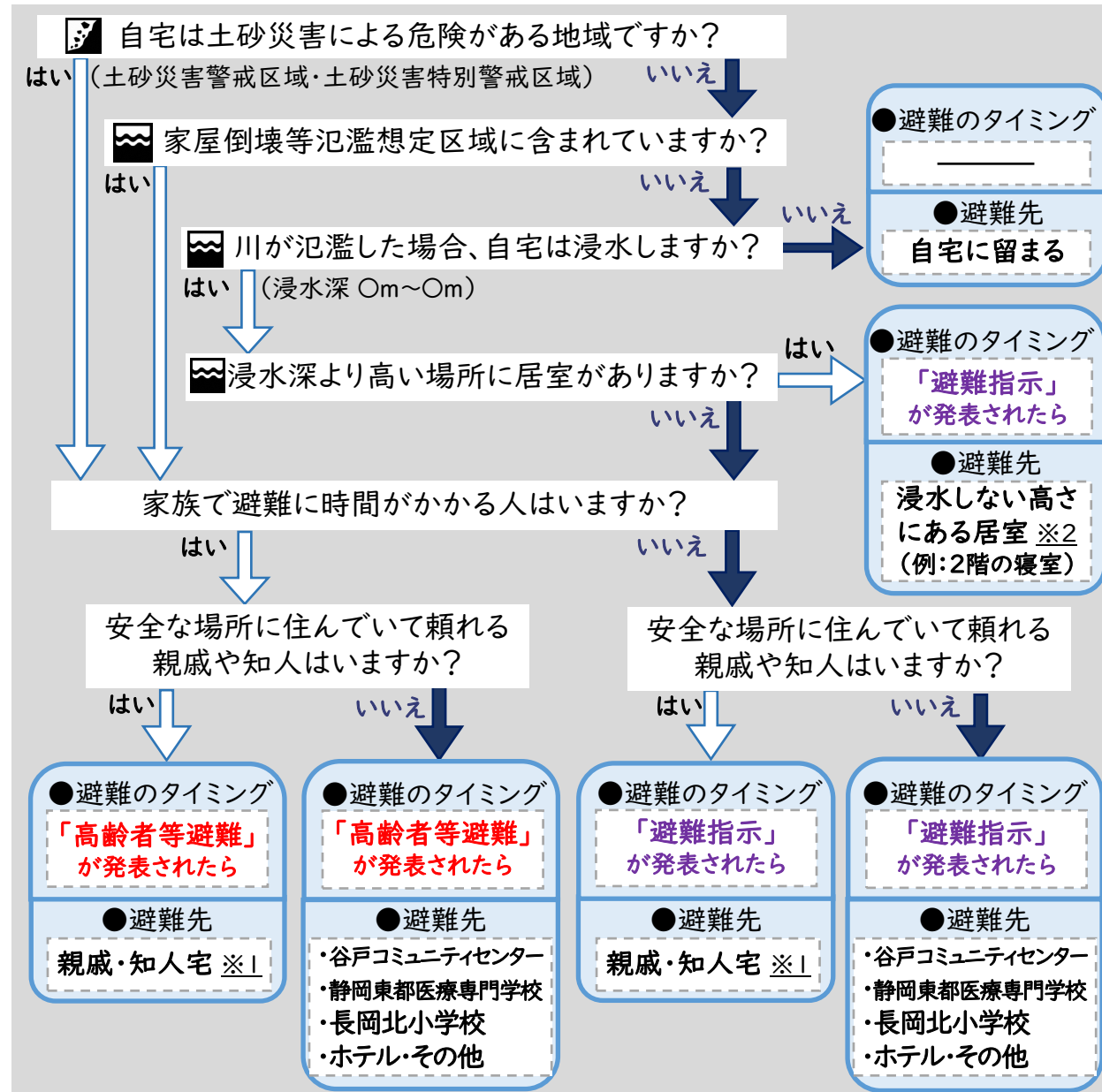
土砂災害による危険

- 土砂災害警戒区域
土砂災害のおそれのある地域
- 土砂災害特別警戒区域
土砂災害が発生した場合、建物の破壊が生じ、住民等の生命や身体に著しい危害が生じるおそれのある地域



大雨② 避難のタイミング、避難先、情報収集手段を確認し、記入

ア 避難のタイミング・避難先を決め、「わたしの避難計画」に記入しましょう



※1 親戚・知人宅へは、可能であれば事前に避難するようにしましょう。
※2 水が引くまでの間の「飲み水・食料」や「簡易トイレ」などを準備しておきましょう。

イ 情報収集手段を決め、「わたしの避難計画」に記入しましょう

避難情報や同報無線の放送、避難所の開設状況

- ・伊豆の国市公式LINE
- ・伊豆の国市Eメール

避難情報やハザードマップ

- ・静岡県防災アプリ
- ・その他アプリ

避難情報やニュース

- ・テレビ
- ・ラジオ
- ・ボタンで避難情報表示 (FMいずのくに・Radimo)

※市の公式LINEやEメール、県防災アプリについて、4ページに2次元コードを掲載しています。